

活動名 西区ミニ障害子どもまつり	団体名	こすもすの会
	地域	広島県広島市
	代表者	代表 江本 桂子
	支援金額	15万円
活動概要		
<p>1、目的「地域に豊かな文化と遊びを」を願い実施 2、具体的な実施は ①毎月1回を原則に実施(第2土曜日) ②作って遊ぶ。作って食べる。伝承遊びなど簡単な遊びの3つの柱で4～5コーナーをつくり実施 ③主な支援は西区社会福祉協議会、修道大学、文教女子大学の学生、障害者生活支援センターめーぷる</p> <p>◆実施時期：毎月第2土曜日を原則に実施(9:30～12:30) 夢トピア</p> <p>◆参加人数：毎月子どもの参加は20～30名(障害児の参加は15%～30%) ボランティア20～25名</p>		
参加総人員 418名		



《竹とんぼづくり》



《日帰りキャンプ》



《ミニコンサート》



《動物とのふれあい》

◆実施に伴う効果

毎回約40名前後の参加が定着してきています。最近では西区社会福祉協議会からボランティアの参加も増えています。

今後も活動が続けることで、「地域の子どもの交流の場」として根付いてくれることを期待しています。

参加する子どもの中には、ほぼ毎日参加してくれる子どももでていきますので、「毎月第2土曜に“夢とびあ3F”に行けば、色々な遊びがある」と考えてくれて来ている感じがします。少しずつこの「西区ミニ障害児子どもまつり」が定着しつつあるという手ごたえを感じています。

◆苦勞した点

毎回西区内の小学校児童全員と、障害児学級、支援学級、特別支援学校などピラを印刷して配るのが大変でした。

ボランティアで関われる学生が減って来ているので、西区の社会福祉協議会や、知り合いなどで、出来る限りボランティアのご協力をお願いしてきました。

毎回ボランティアの確保には苦勞しました。

毎回の遊びの中で、いかに子どもに作って遊ぶ楽しさを経験してもらえるものを用意するかを真剣に考え工夫しました。

◆今後の課題・発展の方向性

毎月第2土曜日が定着しつつ有るので、今後も継続して活動をしていき、本当の意味で「地域に根ざした西区ミニ障害児子どもまつり」にして行きたい。

ボランティアの確保が毎回課題になるので、近隣地域の方のボランティアへの参加を広げて行きたい。

障害児の参加が少なくなっているので、もっと障害児も参加しやすいまつりを工夫したい。

現在、平成22年5月9日(日)に「200回突破記念・西区ミニ子どもまつり」を企画し、実行委員会を立ち上げて準備を進めています。この機会に西区地域のより多くの方への参加の呼びかけをして、障害児と健常児が共に生活しやすい地域創りに貢献したい。と考えています。

この「200回突破記念・西区ミニ陣育児子どもまつり」を成功させ今まで以上に、地域の方々に「西区ミニ障害児子どもまつり」を知って頂き、より地域に根ざした「西区ミニ障害児子どもまつり」にして行きたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

1992年から始まったこの活動も早くも200回を突破する事ができました。

沢山のボランティアさんに支えられてここまでこれた事を本当に嬉しく感じています。

そして、参加してくれた子ども達の楽しそうな笑顔が何よりの宝物です。

これからも子ども達の楽しい交流の場として、活動を続けて行きたいと考えています。